



竜大通信

2018年秋冬
(9月定例会)号
11月11日(日)
(通算43号)

9月定例会代表質問

民営化するリハビリテーション病院の課題

こんにちは、市議会議員かつまた竜大です。10月2日に市川市議会9月定例会が閉会しました。今回は所属会派「新しい流れ」の代表質問を行いました。村越祐民市長がこれから市川市の舵取りしていく上で、どのような考えと方針を持つているのか、会派の代表として以下の四点に関して問い質しました。

(1) 外環道路に対する市の考えについて

(2) ごみ問題について

(3) 子どもの遊び場確保について

(4) 市川市の医療にかかわる問題について 以上です。

特に(4)市川市の医療にかかわる問題については、市川市における医療の課題をどのように捉えているのか、また市川市リハビリテーション病院の民営化についての考え等を質問しました。

**51.9億円の費用負担がなくなつた
(村越市長の成果)**

代表質問(1)の質問及び答弁の要旨は以下の内容です。

【かつまた竜大質問】市川市における医療の課題、特に北東部地域の医療体制に関する課題は何か。南大野の住民からは長年お世話になつた内科の医院が閉院して困つていると聞くが。

【保健部長 答弁】

・北東部の病院は、リハビリテーション病院以外は大野中央病院のみである。

・現在のリハビリテーション病院の外来は、リハビリテーション科と整形外科以外に、内科、消化器科、神経内科であるが、来院者数は少ない。

・北東部においては、かかりつけ医を含む安定的な医療の提供ができる体制が必要である。

【かつまた竜大質問】リハビリテーション病院の民営化に関して、病院の将来的なビジョンは何か。
・将来的により柔軟な患者のニーズに合った医療提供が可能か。
【保健部長 答弁】民営化にあつたの病院の方向性について、

・今回の民営化の目的は、リハビリテーション病院を長期安定的に運営すること。

・そのため、現在の回復期100床の入院診療と外来を継続することが公募の際の条件となつている
・一方で、本市でも今後の高齢者の急増を見据えると、地域包括ケア病床や訪問リハビリテーションなど、新たな回復期の機能を加えることも期待。

・後継法人選定に際しては、これからの新たな取り組みについても評価したい。



市川市リハビリテーション病院

【かつまた竜大まとめ】今回、村越市長が就任してから後継法人は公募することとなった。それによつて51.9億円の(市川市の)費用負担がなくなつたのは村越市長の成果である。いずれにせよ民営化の方向は決まっている。後継法人には多くの工夫と努力をして頂き、新生リハビリテーション病院が地域住民の皆様により愛され、より必要とされる医療機関になるよう頑張ってもらいたい。

「JR本八幡駅周辺の良好な環境の維持に関する決議」が全会一致で採択!

また、9月定例会では発議第11号「JR本八幡駅周辺の良好な環境の維持に関する決議」が10月2日閉会日の本会議において全会一致で可決しました。かつまた竜大も会派代表として提出者名前を連ねると共に、事前に行われた「JR本八幡駅周辺の環境を良好に維持する活動を進める署名のお願い」という活動に協力をして地域で集めた署名を提出しました。以下にその決議文を掲載します。

JR本八幡駅周辺の良好な環境の維持に関する決議

JR本八幡駅周辺は、都営地下鉄、京成を含む3線3駅を擁し、乗降客も多く、人々が集まるにぎわいの地域である。この地域には、文化芸術振興のかなめとなる市川市文化会館及び八幡市民会館(全日警ホール)が立地し、市川市役所第1

庁舎もほどなく完成予定であるほか、市民の安寧を守る葛飾八幡宮、歴史の息吹を今に伝える「薮知らず」、さらに小学校、私立幼稚園、保育園も多くあり、子どもたちの居場所となる施設では、多くの子どもたちや保護者が安心して利用している。すなわち、JR本八幡駅周辺は、約48万市川市民と市外に暮らす人々とがともに憩い、利用する施設が集中する、本市にとつて重要な地域ということができる。

このような多彩な顔を持つ本地域の環境を良好に保つため、地域と行政は一体となつて、路上禁煙や不法駐輪の対策、違法掲示物の撤去等の活動を進めてきた。その地道な努力は地域ボランティアを初めとする人々の手によつて不断に行われ、多くの成果が得られているところである。

しかしながら、現在この地域において、憂慮すべき状況が生じている。

1つは、「迷惑な客引き」「スカウト行為」である。これらの行為は県条例で禁止されているにもかかわらず横行しており、警察の取り締まりも追いつかない状況であるという。近隣の船橋市や柏市では独自の条例を制定して厳しく対応しており、本市においても悪質な迷惑行為の一掃が求められる。

もう1つは、公営競技場外発売場の設置計画である。本地域の良好な環境を維持する必要性に鑑みれば、このような施設の設置を認めるわけにはいかない。

よつて、本市議会は、JR本八幡駅周辺地域の良好な環境を維持するため、悪質な客引き、勧誘等といった迷惑行為に対し、市独自の規制条例の

制定も視野に入れた毅然とした姿勢を示すとともに、公営競技場外発売場の設置計画には明確に反対する意思を示すものである。

以上、決議する。

「かつまた竜大の後援会『竜大とぬくもり市政を創るみんなの会』は会員を募集しています。詳しくはかつまた竜大事務所までお問い合わせを」

プロフィール

20年間勤務した理美容・医療機器製造会社タカラベルモント(株)を退職して2007年の市議会議員選挙に初挑戦して当選(現在3期目)、市内で環境NPOの代表をしていたことが市政への関わりのスタートでした。教育・福祉政策の進んだ北欧諸国に憧れています。墨田区東向島生まれ1986年立教大学経済学部卒業

かつまた竜大事務所

〒272-0023
市川市南八幡4-12-5-906
TEL 047-379-9203
FAX 047-379-9205
携帯電話 070-5019-5058
facebook: 勝亦竜大
ツイッター: かつまた竜大(市川市議会議員)
@katsumataryudai
Eメール: ryudai_katsumata@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://www.ryudai.tv/>

市川市議会議員 かつまた竜大

会派 新しい流れ 代表
総務委員会 副委員長
市川市総合計画審議会 委員
社会民主党千葉県連合 常任幹事(自治体・政策局長)
立教大学校友会 代議員